

# 総務厚生常任委員会道外行政視察報告

～10月25日から28日までの4日間、道外先進地視察を行いました。～

## ◆視察地及び目的

### ■長野県岡谷市

- ①子育て支援全般の取り組みについて（保健福祉関係）
- ②子育て支援館「こどものくに」の施設見学

### ◇意見◇

本町では、「認定こども園いまかね」に子育て支援センター業務を委託して地域の子育て支援を行っている。また、保健福祉課では、子育て支援センターと連携して、乳幼児の保護者等を対象とした子育て支援講演会等も実施しており、乳幼児健診や乳幼児相談（すくすく親子広場）を基本に、母子支援のためのケース会議等の体制づくりや子育てに悩む親が、子どもの行動に注目した対応を学び、その実践や保護者同士の交流を通して、楽しい子育てとより良い親子関係を構築するための「前向き子育て支援事業」など地域の実情に即した子育て支援を展開している。

なお、「今金町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援世帯のニーズに適應した各種施策の推進をより一層望む。



【10月26日岡谷市での様子】

## ◆視察地及び目的

### ■岐阜県中津川市

- ①健康づくり推進条例について
- ②健康都市なかつがわ宣言等に基づく各種施策の状況について

### ◇意見◇

本町では、「今金町健康増進計画」や「今金町食育実践計画」に基づき、感染症対策、減塩プロジェクトの推進や食育サポーターの育成など独自の施策も展開しており、毎年アクションプラン実践状況の評価を行っているが、本町においても健康づくりを重点施策として明確に位置づけるためにも条例化が望まれる。

また、10年ぶりの「健康まつり」の復活を契機として、本計画を指針とした町民・行政協働による健康なまちづくりのさらなる推進を望む。



【10月26日中津川市での様子】

## ◆視察地及び目的

### ■岐阜県多治見市

- ①災害時の行政情報のバックアップ確保体制等の防災対策について
- ②災害応急活動拠点の駅北庁舎建設計画の概要及び具体的な整備内容について
- ③駅北庁舎の施設見学

### ◇意見◇

本町においても緊急時業務対応計画（BCP）の策定に向けて、調査・研究を進めており、速やかな計画の策定及び推進を望む。

なお、本町役場庁舎（昭和41年建設・築50年）も耐震性が低く、大規模地震時には防災拠点施設としての機能を維持することが困難なことが想定され、庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定などが課題となっている。

また、費用や安全性にも配慮して住民基本台帳などの基幹系の行政情報については、クラウド化によりバックアップ体制を確保しているが、災害拠点施設の整備を始めとし、非常時優先業務の整理及び災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保等が課題として残されていることから、健全財政を維持しながら将来を見据えた計画的な整備・推進等が求められている。



【10月27日多治見市での様子】

# 所 管 事 務 調 査 報 告

◆調査日：7月20日・21日（2日間）

◆調査結果

市街地における遊休町有地（御影町営住宅跡地・旧オナヤ旅館跡地・大和団地分譲地・日の出町交番裏・あったか団地分譲地・中学校前教員住宅建設予定地）6ヶ所、認知症対応型グループホーム「すえひろ」、障がい者相談支援事業所「ひかり」、障がい者グループホーム「ひかりホーム」、特別養護老人ホーム「豊寿園」、あったからんどの運営状況、南団地町営住宅屋根塗装工事、種川宮前団地町営住宅解体工事の進捗状況、文書管理センター、やすらぎ苑前の樹木・花壇撤去、植物工場予定地（町有地）の状況確認のため、現地に出向き調査し、所管事務調査項目に挙げた12項目については、さらに提出された資料により調査をした。



文書管理センター



南団地町営住宅屋根塗装工事



認知症対応型グループホーム「すえひろ」

◇意見◇

本町は市町村合併せずに単独町政を存続する選択をして、行政改革大綱や集中改革プラン等に基づく改革を推進し、財政の健全化に努めているが、景気の低迷と生産年齢人口の減少による所得の減少、高齢化に伴う社会保障費の増大など、財政を取り巻く環境はより一層厳しい状況が続いている。

第5次総合計画（後期計画）の着実な推進とともに「今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく、人口減少の克服、地方創生や地域の活性化に向けた施策を積極的に推進するため、効率の良い行政運営と良質な行政サービスの提供に心がけ、魅力あるまちづくりに努めていただきたい。

将来、大型の箱物が予定されており、耐震化に伴った取り組みも必要で、健全な財政を維持するためにも財政計画をしっかりと立てていただきたい。

市街地の遊休町有地については、賃貸住宅建設支援などで一部活用が図られているが、他の遊休町有地についても十分な管理と積極的な有効活用を図られたい。また、併せて持家住宅の奨励や定住を促進するため、あったか団地分譲地等のPRを積極的に展開し完売に向けて努力されたい。

南団地町営住宅の屋根塗装など適時メンテナンスを行っていますが、町有住宅、公営住宅、さらに文書管理センター等の公的施設に対して適切な管理をお願いしたい。

認知症対応型グループホーム「すえひろ」、障がい者グループホーム「ひかりホーム」、特別養護老人ホーム「豊寿園」については、適正な運営がされている。

# 総務厚生常任委員会



特別養護老人ホーム「豊寿園」



障がい者相談支援事業所「ひかり」



あったからんど



美利河 植物工場予定地

## ◇意見◇

障がい者相談支援事業所「ひかり」については、管理者1名、相談支援専門員2名体制で、身体・知的・精神の障がいがある方やその家族の相談を町からの委託を受けて行っているが、昨年の相談支援の延べ回数は、年間2,438件と多く、相談内容も多岐にわたっていることから、障がい者の自立支援に向け今後も町行政と一体となった取り組みを推進されるよう望む。町民センターの物品庫に災害用備蓄品は保管されているが、災害時に即対応できるよう万全を期されたい。

「あったからんど」については、今年4月より従来の閉館日を廃止し、メンテナンス等のための臨時休館日のみとしましたが、今後も利用者の立場に立った改善や環境整備を望む。また、種川温泉については、自治会が町から委託を受けているが、高齢化が進んでいるので今後の運営について早めの協議をお願いしたい。

平成27年度決算の町税等滞納繰越額については、軽自動車税を除き対前年度と比較して減少しているところではありますが、納税者の公平・公正性の確保と自主財源確保のため、渡島・檜山地方税滞納整理機構や檜山振興局との連携のもと、滞納者発生防止と収納率向上に努めていただきたい。

植物工場予定地については、傾斜や広さの問題もあり、今後どのようなになるのか十分な説明を議会に対してしていただきたい。

介護老人保健施設については、昨年度と比較して入所者数、通所者数ともに増となっているところではありますが、関係機関との連携に努められ、感染症対策の強化や利用者のニーズに応じたサービス提供に努めていただきたい。

国保病院については、地域住民の信頼と期待に応えられるよう引き続き接遇改善に取り組み、医療スタッフの充実をはかりながら良質な医療の提供を望みます。

# 所 管 事 務 調 査 報 告

◆調査日：7月27日・28日及び11月7日（3日間）

## ◆調査結果

7月の現地調査については、清流パークゴルフ場改修内容の確認、神丘10号線交付金工事、豊田橋長寿命化修繕交付金工事、中央通線交付金工事の進捗状況、国営緊急農地再編整備事業（今金南・北地区）、水稻試験圃場（八束地区）の確認、へき地保育所（種川）通年開設の状況、森林管理道光台鈴岡線開設工事の進捗状況、図書室・学校給食センターの運営状況（食育を含む）、今金中学校耐震診断、総合体育館・図書館建設予定地の状況確認のため現地に出向き調査をした。

なお、所管事務調査項目に掲げた10項目については、さらに提出された資料により調査をした。また、11月には台風10号の被害状況について、神丘地区の林道及び町有林、稲穂地区の地滑り、種川小学校スキー場の照明設備、中里学校線及び濁川住吉線の倒木処理等の現地調査も行った。



国営緊急農地再編整備事業  
今金南地区



豊田橋長寿命化修繕交付金工事

## ◇意見◇

今年の農作物の状況は、春先の天候にも恵まれ5月までは高温基調で進んできたが、6月は一転、低温と日照不足の状態が続き、7月・8月の天候不順により生育が遅れ、水稻の10月15日現在の作況指数は、檜山管内98で「やや不良」となった。また、農作物全体では、天候不順による低温や日照不足による生育の遅れ、8月の台風による影響もあり数量や品質が落ち込んでいる。

8月30日に道南地方を襲った台風10号の強風により本町においても、倒木、ハウスの損壊、地滑りや排水不良など多くの被害を受けており、農業施設等の復旧に向けた支援策として、町で独自助成も行っているが、この度の災害からの迅速な復旧と今後の防災対策に向けた取り組みの強化を望む。

国営緊急農地再編整備事業（今金南・北地区）に関しては、順調に事業を推進しているところではありますが、事業の進捗に遅れがないよう予算確保に全力を尽くしていただきたい。

中央通線交付金工事及び神丘10号線交付金工事の道路整備や橋りょう長寿命化修繕計画に基づく豊田橋の改修については、国の社会資本整備総合交付金の予算配分により年度計画に遅れが生じているので、計画の見直しに合せて予算確保にも努められたい。

# 産 業 教 育 常 任 委 員 会



種川へき地保育所



今金中学校



神丘地区の林道及び町有林  
風倒木処理現場



稲穂地区の地滑り現場

## ◇意見◇

へき地保育所については、今年度から通年開所を実施し、保育児童への給食提供など保育環境の充実が図られている。今後も保護者や地域住民の理解をいただきながら適切な管理運営に努められたい。

学校給食センターについては、昭和52年の供用開始から40年目を迎え、施設の老朽化が著しく設備も不具合が多くなってきているが、その一方で学校給食の提供は、常に衛生管理の徹底等が求められているので、事故防止のため適宜修繕を行うなどの対策を講じるとともに、今後も安心・安全な給食の供給に努めていただきたい。

なお、今後も「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」などの食農・食育事業を推進し、給食食材の今金産や道南・道内産の使用率の向上に努められたい。総合体育館・図書館の建設が予定されているが、供用開始されるまでの間、利用者のニーズに即した図書サービスの提供と現状で可能な範囲での環境整備や改善に努められたい。また、今後は蔵書が多くなることが想定されることから、町有施設の閉架書庫への活用などについても検討いただきたい。

今金中学校の耐震診断の結果、校舎（B・C・D）棟、屋棟（E）において倒壊の危険性があり、また、校舎（A・B）棟においては不同沈下が認められ、今後も沈下が進行する可能性がある。また、中学校は災害時の避難所にも指定されており、町では中学校を移転改築する方針で、現在、耐力度調査も行っている。地震による被害から未然に生徒や教員等を守り、より安全性を高めるためにも早期の改築に向けて鋭意努力されたい。

台風10号による風倒木の被害を始めとし、山林の土砂崩れや砂防ダムに倒木や土がたまる被害も多数見つかっており、今後の林業への影響が懸念される。また、道南の林業は、作業員の高齢化などで慢性的な人手不足のため、復旧には数年かかる可能性もあり一日も早い復旧が望まれる。